



XR50・100モタード用 ボンバーL2マフラー 取扱説明書

商品番号：04-02-2731

適応車種

HONDA

XR50モタード :AD14-1000001~

XR100モタード :HD13-1000001~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
 - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
 - ・ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みになってご理解した上でご使用して頂きます様お願い致します。
- ノーマルマフラーとは異なったサウンドと性能をお楽しみ下さい。

～ 特 徴 ～

- 新たに開発したサイレンサー構造により、排気ロスの少ないストレート構造を採用しつつ、J M C A 認定音量をクリアする事を可能としました。この構造により、低回転域ではJ M C A 認定の静粛性を備え、高回転域ではストレート構造より生み出される抜けのよいサウンドをお楽しみ下さい。
- エキゾーストパイプはステンレス製でバフ研磨を施し、質感・耐久性ともに高めています。
- XR100モタードのタンデムステップも、無加工で取り付けの事が出来ます。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

XR100モタードにこのマフラーを装着する場合、タンデムステップ無加工にて取り付け可能ですが、右タンデムステップとエキゾーストパイプが近い為、基本的にタンデム走行は出来ません。やむを得ずタンデムする際は、靴底の損傷や火傷に十分ご注意下さい。



注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時(マフラーが冷えている時)に行ってください。(マフラーのヒビ割れの原因となります。)
- ・車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。
(歩道等に歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被る恐れがあります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・J M C A カードに明記されている規定値は、エンジンがノーマルの状態での規定値です。エンジンパーツを交換及び改造している車両は、J M C A 認定外になります。又、マフラーを分解、加工、改造した場合もJ M C A 認定外になりますのでご注意下さい。



警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・エンジン回転中は、マフラー出口を絶対覗かないで下さい。(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- ・XR100モタードにこのマフラーを装着する場合、タンデムステップ無加工にて取り付け可能ですが、右タンデムステップとエキゾーストパイプが近い為、基本的にタンデム走行は出来ません。やむを得ずタンデムする際は、靴底の損傷や火傷に十分ご注意下さい。

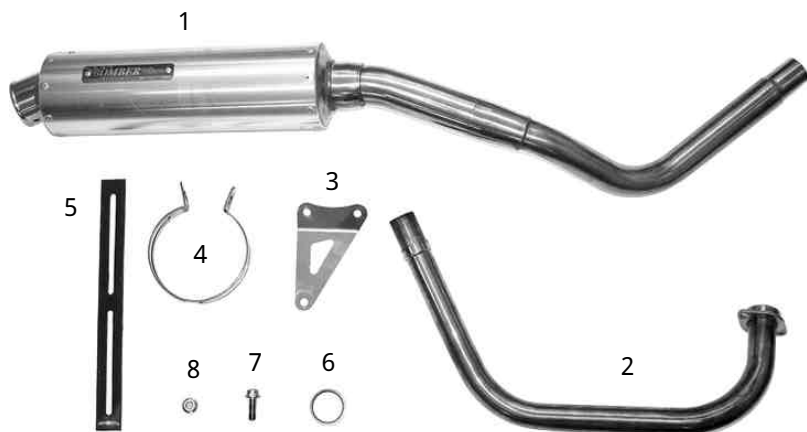
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承ください。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承ください。

他社製パーツとのマッチングの問い合わせは、ご遠慮下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	個数
1	サイレンサー A s s y .	1
2	エキゾーストパイプ C o m p .	1
3	サイレンサーステー	1
4	クランプバンド	1
5	バンドドライバー	1
6	エキゾーストガスケット	1
7	フランジボルト 8 x 2 0	1
8	フランジナット M 8	1
	J M C A カード	1

～ 取 り 付 け 要 領 ～

● 純正マフラーの取り外し

1. メンテナンススタンド等で車両を安定させます。



⚠ 警告：水平な場所で車両を安定させること。

2. 右サイドカバーのフランジボルトを取り外し、右サイドカバーを取り外します。



3. E X パイプ部のナット2個を取り外します。

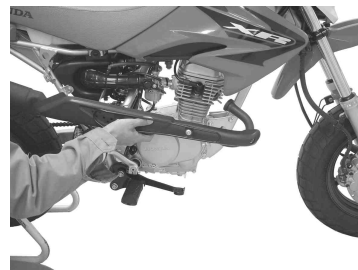


4. マフラー本体を止めているフランジボルト2本を取り外します。

このボルトは再使用しますので、保管しておいて下さい。またボルトの損傷が激しい場合は、別途新品をご用意下さい。



5. 車体からマフラーを取り外します。



6. E X ポート部に入っている古いエキゾーストガスケットを外します。

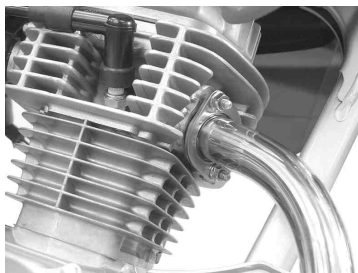


● ボンバー L 2 マフラーの取り付け

1. 本キットに同梱されている、エキゾーストパイプガasketを、エキゾーストポート部に差し込み取り付けます。



2. エキゾーストパイプComp.を、シリンダーのエキゾースト側に差し込み、純正ナットで仮止めします。



3. サイレンサーステーを、車両の純正マフラスター部に、純正マフラーボルトを用いて固定します。

締め付けトルク：

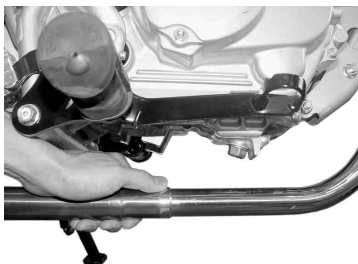
$22\text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



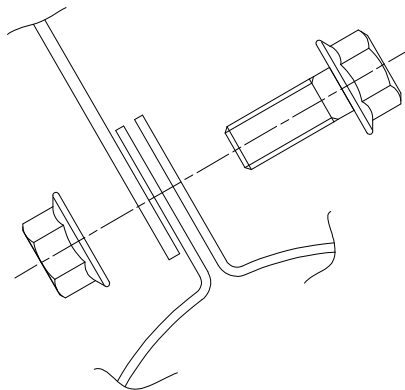
4. サイレンサーAssy.をエキゾーストパイプComp.に差し込みます。

差し込み部分に耐熱液体ガスケットの塗布をお勧めします。

(スリーボンド 1207B 相当品)



5. クランプバンドの内側にバンドラバーを巻き付けサイレンサー部に通し、フランジボルト 8×20 と、フランジナットM8を用いてサイレンサーステーに仮止めします。

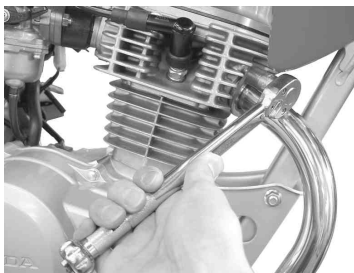


6. サイレンサー及びエキゾーストパイプ位置を調整して、調整した位置がずれないように注意しながら、シリンダーヘッドエキゾーストポート部のフランジナットを、均等に規定トルクまで締め付けます。

締め付けトルク：

$10\sim 12\text{ N}\cdot\text{m}$

($1.0\sim 1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



7. サイレンサーを固定しているクランプバンドを締め付けます。

締め付けトルク：

$22\text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



8. サイレンサーを固定したら、タンデムステップや車体などに、マフラー及びサイレンサーが干渉しない事を確認して下さい。

9. 右サイドカバーを元通り取り付けます。

10. マフラーに付着した汚れを拭き取り、JMCAプレート及びBOMBERエンブレムの保護フィルムを剥がします。

● 最終確認

1. 換気の良い安全な場所でエンジンを始動させ、排気漏れの有無や、干渉が無いかを確認します。

2. エンジンを停止した後、各部が常温まで冷えてから、各スク류類をもう一度規定トルクで増し締めします。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>